

感染対策について

○新型コロナウイルスの特徴

①感染力がとて強い。

無症状でも感染する。

②重症化リスクが高い。

高齢者、基礎疾患、ワクチン未接種は特にリスクが高い。

死亡する。後遺症が残る。

→ 感染症としての対応が必要

○新型コロナウイルス感染対策の経緯

・ 3 / 17 国の基本的対応方針の変更

・ 3 / 21 まん延防止等重点措置の解除

感染拡大は収まっていないが、自粛一辺倒ではなく、基本的な対策を継続しながら、経済社会活動を再開していく。

イベントは大声のあるなしで定員制限

→ 現状は平時への移行期間である

・ 4 / 27 分科会尾身会長の会見

大型連休後の感染拡大について、4パターンの対応案を提示

→ 分科会で対応策を一つに絞れなかった

感染拡大状況を予測しきれっていない

政府も対応策を決断する態度を示していない

→ 国も様子見の態度

○ワクチン接種4回目

- ・60歳以上と基礎疾患に対象を絞った
- ・3回目から5カ月経過へ前倒し

→ 鎌ヶ谷市では、7月からスタート

感染拡大の中心は若年層だが、ワクチン接種は重症化リスクの高い人を対象とした

○市の対応方針

国の基本的対応方針に基づき、4/1からの市の対応方針を決定

- ・会議はOK
- ・イベントは大声のあるなしで定員制限

→ 個別のイベントについては、判断中

ごみゼロ運動は開催予定

○その他イベント

- ・隅田川花火大会（7月）中止
- ・茂原七夕まつり（7月）中止
- ・町田ビールまつり（3月・4月）開催
- ・肉フェス（5月）開催
- ・小田原北條五代祭り（5月）開催
- ・ふなばし市民まつり（10/15～）開催（商工振興課が事務局）
→夏から10月に時期を変更

→ 経済を目的とするイベントは開催される傾向にある

利益を上げる機会を失うと会社が存続できなくなる

○自治会活動における感染対策について

①会議

総会：準備の期間を含めて、まん延防止等重点措置なら書面

役員会：まん延防止等重点措置ならできるだけデジタル開催

②イベント

大声なしに内容変更すべき

飲食は水分補給にとどめるべき

準備の期間を含めた感染状況により内容や開催の是非を判断する

- ・夏まつり
- ・敬老会
- ・餅つき

③会食

完全禁止ではないが、例えば、役員全員が一緒に感染するリスクは避ける

○自連協定期総会における感染対策

①会場

ソーシャルディスタンスを確保できる大きさ

入口で漏れなく検温できる

②受付

フェイスシールド、ニトリル手袋、段ボールパーテーション、除菌シートを使用

③時間を短縮するための工夫

- ・来賓は呼ばない
- ・説明資料を予め配布
- ・質疑を事前受付←当日受付は2つまで

④飲食

- ・お弁当なし

持ち帰りも検討したが、感染状況により急遽書面会議となった場合の
費用的なリスクを回避することとした